9
2014 September
No.179

患者さまと病院をつなぐかけはし

# まつなみ

［発行］社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

## 女性が支える医療最前線！
### 眼科・産婦人科から

仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組み企業として国から認定されました。

## 女性、輝くノースウィング

ノースウイングがオープンしてはや1ヶ月。さまざまな機能を備えた新館ですが、設計段階から女性の視点や意見を数多く反映させ、すべての女性にやさしいと感じていただける心やすまるホスピタリティを目指しました。

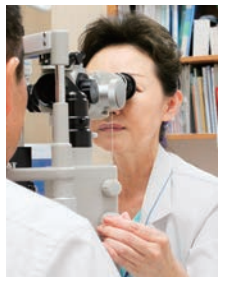
### まず、はじめに考えたことは「患者さんにとって居心地のいい病院」であることです。

眼科に関していえば、患者さん目線で動線上の配慮を十分にしました。以前は、検査室やレーザー治療室など各室の機能を優先させていましたが、それだけではなく、患者さんが不便を感じないようにするという視点に立ちレイアウトをいたしました。特に眼科内の検査室や治療室を結ぶ空間を明るくして移動しやすくしました。視力に不安のある方が多いのに、更に暗いところを移動していては不安になってしまいます。不自由さを感じることなく、安心して受診していただきたいのです。

この発想は、病院全体の設計にも取り入れられています。一般に病院の壁は白が多いのですが、白一色の壁ばかりではどこか冷たさを感じませんか？このノースウィングでは、木目調で濃いブラウンのアクセントを入れたり、照明も場所に応じてあたたか味のある電球色を使用しています。すべてが同じでは、患者さんへの細やかな配慮が行き届くことはありません。お気づきになられた患者さんからも、こうした細部の工夫へお褒めの言葉をいただけたようです。

### 病院のポリシーとして、北館を貫いているのは、「人への優しさ」です。

患者さんにとっていい病院であるためには、病院の職員に、働きやすい環境を提供することが大切です。私自身、子どもが小さい頃は、週末や昼夜関係なく、子育てしながら急な診療の呼び出しにも応じて、医療に携わる者の大変さは十分に分かっています。ですから、子どもを持つ女性医師の時短勤務やフレックス制度もいち早く取り入れました。また、病院の勤務時間の特殊性を考慮し、24時間保育の託児所も設けております。家庭も仕事も大事にできる人は、患者さんにも優しく対応できます。



これからも女性スタッフの視点や考えをくみ取り、患者さんが安心してかかれる病院を目指していきます。

眼科第一部長 松波 智恵子（まつなみ ちえこ）

【専門分野】眼科診療一般
【所属学会】日本糖尿病眼学会、日本眼科学会

## 女性、輝く！

最善の医療を影で支えるスタッフたちの存在も、当院の大きな力のひとつです。
そこで今回は、外来の最前線で活躍する女性スタッフにクローズアップ！

### 医事課 Medical coding division

#### スタッフ全員が「おもてなしの心」で。

受付、レセプト、会計業務が担当です。日々の業務で心がけていることは、患者さんに合った対応。困っていらっしゃる方には、こちらからお声がけをします。患者さんが来院されてから、お会計を終えてお帰りになるまで、スタッフ全員が「おもてなしの心」で対応できる病院を目指したいです。

医事課 主任 三浦 みどり

### クオリティー管理部 Quality Management Department

#### 女性目線の目配り・気配り・心配りを大切に。

患者さんの相談窓口や、各アンケート実施（入院・外来・職員）集計が主な仕事です。いつも心がけていることは、患者さんの目線や立場で考える。女性ならではの目配り・気配り・心配りも大切にしたいと思っています。何かあれば気軽に相談していただける窓口でありたいですね。

クオリティー管理部 副主任 田中 彬子

### エスコートレディー Escort lady

#### モットーは笑顔と真心で接すること。

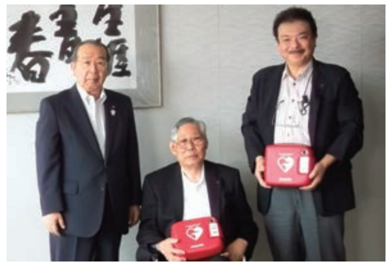
エスコートレディーとは患者さんを玄関先でお迎え・お見送りするコンシェルジュ（ご案内）のこと。補助誘導が必要な方には付き添いもいたします。「エスコートさんがいると助かる」「ホテルみたいな対応で気持ちが明るくなる」というお言葉をいただくとうれしいですね。感謝をいただけるこの仕事を誇りに思います。笑顔と真心で最高のサービスを提供できるようスタッフ一同努力いたします。

エスコートレディー 近藤 久美子

## まつなみ News

### 笠松町役場にAED寄贈。

笠松町役場に自動体外式除細動器（AED）を寄贈いたしました。寄贈したAEDは今秋から運行予定の笠松町公共施設巡回町民バスの新型車両内に設置し、緊急事態に備えて活用されます。



### メディカルセミナー＠笠松中

地元・笠松中学校で2年生が参加して「医療体験授業」が行われました。これは、同校の「夢を育むキャリア教育」の一環で、当院からは、小林副院長（外科）を中心に救急救命担当の医師、看護師、理学療法士らが同校に出向き、最新の医療技術や救命処置についてわかりやすく教え、実際には内視鏡や超音波診断なども体験してもらいました。皆さんにとって普段できないことばかりで、驚きの授業となりました。

## 外来診療のご案内

### ノースウィング（北館） 時間外診療はこちら

●初診の方は紹介状をご持参ください。

■眼科 ■泌尿器科 ■健診科 ■リウマチ科 ■産婦人科 ■放射線科
■脳神経外科 ■神経内科 ■耳鼻咽喉科 ■リハビリテーション科 ■整形外科

紹介状をお持ちの方 ■内科 ■循環器内科 ■小児科

### まつなみ健康増進クリニック

■外科 ■呼吸器内科 ■腎臓内科 ■皮膚科
■呼吸器外科 ■血液内科■大腸肛門科 ■形成外科
■心臓血管外科

紹介状をお持ちではない方 ■内科 ■循環器内科 ■小児科

社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院
〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1 TEL 058-388-0111（代） FAX 058-388-4711
http://www.matsunami-hsp.or.jp

女性、人生輝く!

産婦人科 | Obstetrics and Gynecology

# 安心して出産できるよう スタッフが全面的にサポート。

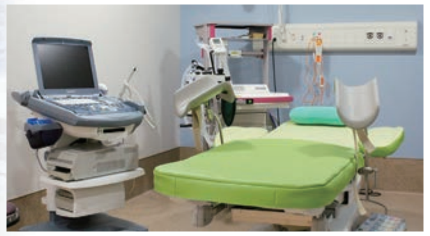
産婦人科部長 高木 博（たかぎ ひろし）

【専門分野】周産期・腫瘍・内分泌・腟式手術
【所属学会】日本産科婦人科学会、
日本女性骨盤底医学会、
日本婦人科腫瘍学会、
日本産婦人科手術学会

## ワンフロアが産婦人科 機能的で快適な空間

日本産婦人科学会は「婦人科腫瘍癌」「周産期医学」「生殖内分泌学」「予防医学・女性医学」の4つの柱において、それぞれの専門性を先鋭化し発展しています。当院の産婦人科では、これら全ての分野で経験を積んだ4人の常勤医が、高いレベルでの医療を提供できるよう努力しています。また、総合病院という特性を活かし、小児科はもちろん、麻酔科、内科、外科など他科との連携によって、合併症を有した妊婦さんや手術患者さんなど、さまざまなケースにスピーディな対応が可能です。

以前は他科とフロアを共有する混合病棟でしたが、ノースウィングに移ってからは、4階東のワンフロアが産婦人科という快適な空間となり、産婦人科専門の医師・看護師が患者さんをしっかりサポートしています。さらに外来診療では、妊婦さんと婦人科疾患・不妊治療患者さんの診療スペースを明確に分離しました。待合室を別々とし、それぞれの動線が交わらないよう配慮することで患者さんのストレスも軽減されることを期待しています。このように安心して通院・入院していただける環境が整っています。



2室のLDRルームのうち、
1室は体外受精に対応する設備が整っている

生まれたばかりの赤ちゃんを感染症などから
予防する新生児室

ノースウィングの特徴として、LDRルームも挙げられます。通常の出産システムは「陣痛室→分娩室→病室」という一連の移動が必要で、陣痛のピークに分娩室に移ったり分娩直後の疲労の中で病室に移動したりと、大変な負担がありました。そして分娩室は手術室のように無機質なイメージで、妊婦さんは緊張感を感じやすい空間でした。それに対してLDRルームは、一見、ごく普通の個室なので、心身ともにリラックスした状態で出産していただけたら、と願っています。このほか出産前後のサポートとして、妊娠中の悩みや不安を軽減する「助産師外来」、断乳や育児についてアドバイスする「母乳外来」など、さまざまな受け皿を用意しています。また、健康で元気な赤ちゃんが無事に生まれてきてほしいという願いをかなえるために、当院スタッフは全力で取り組んでいます。万が一、分娩に関連して重度の脳性まひが赤ちゃんに発症した場合に、赤ちゃんとご家族をサポートしたいという想いから当院は産科医療補償制度に加入しています。

産科医療補償制度

看護師長 長屋 ひとみ（ながや）

### つねに寄り添う トータルケアサポートを

助産師外来では、助産師が関わることで妊娠中の不安や心配事にすぐ対応し、分娩時には、お母さんと赤ちゃんが安全に出産できるよう、体と心を支えるだけでなく、立ちあう家族へのサポートも行います。そして分娩後は、指導や授乳介助などを通じてお母さん・赤ちゃんと関わらせていただき、退院後は1ヶ月健診だけでなく、1週間健診を無料で行います。このように全ての時期にスタッフが寄り添い関わることで、患者さんをトータルケアサポートするところが産婦人科の強みです。

## LDR 「LDRルーム」で移動せず陣痛・分娩・回復を

LDRとは、陣痛（Labor）、分娩（Delivery）、産後の回復（Recovery）の略語で、陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室のこと。陣痛時の移動がなく、分娩後は回復するまで同じ部屋でゆっくり休むことができます。そのため、ご家族の立ち会いがスムーズで、精神的にもリラックスしてお過ごしいただけます。

LDRルームの魅力

- ご家族の立ち会いがスムーズ
- 陣痛ピーク時などの移動の負担を解消
- プライベートの確保ができる
- 一つのベッド・一つの個室で過ごせる
- 精神的にリラックスできる空間

一見、普通のベッドが…

分娩台に早替わり!

眼科 | Ophthalmology

## 患者さんの不安をできるだけ取り除くようにしています。

当院の眼科の特徴は、検査機器を豊富に取り揃えていること、そして松波医師と私、2人の女性眼科医が常勤していること。医師に性別の違いはないのですが、女性の患者さんや、子どもを持つお母さん方にとっては、女性医師のほうが話をしやすいこともあるかと思います。同じ女性として、もしも自分が患者さんの立場だったらどうするか、といった具体的な内容も含めて、いつも丁寧で分かりやすい説明を心がけ、できる限り、患者さんの検査や手術などへの不安を取り除くようにしています。

眼科 医員 黒岩 真友子（くろいわ まゆこ）

## 女性ならではの気配りや 思いやりを大切に。

眼科全般の検査や白内障の術前検査、医師による診察のサポートなど、さまざまな役目を担っている視能訓練士。当院には5人の視能訓練士がおり、きめ細やかな対応をしています。松波先生、黒岩先生という2人の女性医師について尋ねてみると「口調が穏やかで優しく、診察も丁寧。細かなところに気がつくお2人を尊敬します!」とのこと。そんな素敵な女性医師のもと、いきいきと働く視能訓練士の皆さん。車椅子の方の誘導や、目の不自由な方の補助など、女性ならではの気配りを大切にしています。

視能訓練士 木全 智奈未（きまた ちなみ）

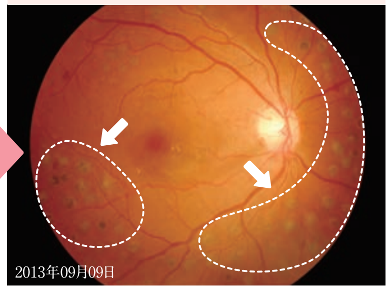
視能訓練士 梅田 奈美（うめだ なみ）

## 糖尿病網膜症

成人の失明原因の第2位を占め、糖尿病の3大合併症のひとつです。

治療前
網膜に出血を認めます。

網膜光凝固術（治療後）
網膜の出血は消失しています。




白内障、糖尿病網膜症などは目の検査、治療で改善しますが、複視、眼球運動障害、眼瞼下垂、視野障害、網膜循環障害、ブドウ膜炎、などは原因検索、治療方針決定のために、眼以外の検査（頭部精査、副鼻腔精査、頚動脈精査、心疾患精査、胸部精査、血液検査など）を必要とします。そのような眼疾患にも多数対応しております。当院では、これら症例に対して、他科との連携を重視して、原因検索、治療を行っております。それゆえ、近医の先生方から多くの患者さまをご紹介いただいております。